

障害者就労施設等からの物品等の調達実績【令和5年度】

(岡南市)

1. 過去3年度分の実績

年 度	件数〔件〕 調達額(円)	内 訳	
		物 品	役 務
令和3年度	146件 30,196,585	52件 1,703,540	94件 28,493,045
令和4年度	164件 28,848,225	59件 1,643,034	105件 27,205,191
令和5年度	153件 31,428,602	62件 2,027,210	91件 29,401,392

2. 令和5年度分の内訳

15部36課から発注していただきました。(令和4年度は15部36課)

() 内は令和6年度部・課名

発注部・課		調達額	内 容
総務部	総務課	1,306,800	トイレトペーパー購入
		1,848,792	印刷業務委託
企画部(総務部)	施設マネジメント課	5,200,250	草刈業務委託
地域振興部(文化スポーツ観光部)	観光交流課(観光振興課)	41,472	コンベンション配付資料封入
地域振興部	シティプロモーション課(移住交流推進課)	200,000	市誕生20周年缶バッジ作成
	地域づくり推進課	33,000	草刈業務委託
環境生活部	リサイクル推進課	328,900	封筒等印刷業務委託
		7,661,008	清掃・維持管理業務委託
	生活安全課	176,000	啓発パネルの搬送・設置業務
		38,500	クリアファイル
	人権推進課	7,700	トイレトペーパー購入
健康医療部	地域医療課	259,600	アンケート集計
		13,750	帳票等印刷業務委託
こども・福祉部(福祉部)	健康づくり推進課	77,000	トイレトペーパー購入
		454,850	封筒等印刷
こども・福祉部(福祉部)	地域福祉課	757,900	施設清掃業務、樹木伐採委託
		47,520	土鈴、トイレトペーパー購入
		1,935,835	バス・タクシー助成券等印刷業務委託
	高齢者支援課	121,000	印刷業務委託
	生活支援課	721,270	封筒・冊子・タクシー利用券印刷業務委託
こども・福祉部(こども未来部)	次世代政策課(子育て給付課)	575,575	封筒等印刷業務委託
	こども支援課(こども保育課)	109,230	トイレトペーパー購入
		85,250	封筒等印刷業務委託
		327,250	草刈業務委託
	あんしん子育て室(あんしん子育て推進課)	19,140	トートバッグ購入
産業振興部	商工振興課	35,000	こどもまんなか缶バッジ作成購入
		2,332,668	草刈業務委託
建設部	河川港湾課	281,050	除草業務委託
		29,040	トイレトペーパー購入
都市整備部	公園花とみどり課	148,500	草刈業務委託
		2,297,668	公園清掃業務委託
	公共交通対策課	21,780	トイレトペーパー購入
熊毛総合支所	地域政策課	879,360	清掃業務委託
		7,260	トイレトペーパー購入
	市民福祉課	112,680	清掃業務委託
鹿野総合支所	産業土木課	853,318	公園管理業務、清掃業務委託
		14,784	印刷業務委託
教育部	生涯学習課	75,900	封筒等印刷業務委託
	学校給食課	435,600	害虫駆除業務委託、草刈業務委託
		55,880	封筒等印刷業務委託
	中央図書館	20,474	草刈業務委託
		15,400	トイレトペーパー購入
	教育政策課	46,200	清掃業務等委託
消防本部	消防総務課	59,400	封筒印刷業務委託
		64,788	封筒購入
上下水道局	料金課	22,440	ウエス購入
		211,420	封筒・チラシ印刷業務委託
ボートレース事業局	浄水課	187,000	印刷業務委託
		583,000	除草業務委託
	ボートレース管理課	290,400	トイレトペーパー・土鈴等購入
合 計		31,428,602	

サポート寄付の実績〔合計〕			オートレース選手	
年度	件数	金額(円)	件数	金額(円)
平成20年度	96	3,031,000	71	1,875,000
平成21年度	86	4,074,000	66	2,080,000
平成22年度	91	3,751,000	70	2,476,000
平成23年度	92	3,091,000	73	1,536,000
平成24年度	82	3,895,000	66	2,130,000
平成25年度	75	3,375,000	56	1,730,000
平成26年度	86	2,860,000	58	1,700,000
平成27年度	92	4,701,000	65	1,730,000
平成28年度	564	22,557,000	67	1,420,000
平成29年度	1,072	38,133,000	59	1,400,000
平成30年度	1,243	36,217,000	60	1,300,000
令和元年度	3,563	89,629,000	63	1,290,000
令和2年度	7,285	164,686,200	162	1,980,000
令和3年度	5,398	118,637,000	74	1,640,000
令和4年度	8,078	124,964,000	73	1,663,000
令和5年度	7,723	119,916,500	62	1,522,000
合計	35,626	743,517,700	1,145	27,472,000

山陽小野田市内AED設置救急ステーション認定事業所

事業所名

- 1 小野田スイミングクラブ
 - 2 スポーツコア「アルファ」
 - 3 朝陽カントリークラブ
 - 4 おのだサンパーク
 - 5 天然温泉「みちしお」
 - 6 介護老人保健施設「あさ紫苑」
 - 7 山陽小型自動車競走場
 - 8 山陽小野田市民体育館
 - 9 赤崎地域交流センター
 - 10 山陽小野田市文化会館
- (26カ所のうち認定を受けた順に10カ所提示)

日 報 (宇部日報)

2007年〈平成19年〉 7月2日 月曜日

〈日刊〉

オート選手ら感謝の初参加

山陽地区
河川海岸清掃



山陽オートの選手らも
参加した山陽地区河川
海岸清掃(前場川で)

則さん(三)らオート選
手ら十人が、河川敷周
りの草刈りや、ポイ捨
てされた空き缶やごみ
を拾い集めた。

梅雨時期ということ
もあって、草の背丈は
大人の腰ほどまでに伸
びきつており、住民ら
は汗だく。川の中に靴
のまま入って空き缶な
どを拾う人も。草刈り
機なども動員して、約
二時間かけて前場川周
辺は見晴らしもすつき
りした。

オート選手らの参加
は今回が初めて。参加
した中野選手は「住み
よい自然環境を守ると
同時に、地元への恩返
しという意味も込めて
参加した」と話した。
参加者には福岡在住の
選手もおり、前日から
泊まり込みでこの日に
備えていた。

地域奉仕の汗きらり

山陽地区河川海岸清掃大会(山陽環境衛生連
合会主催)が一日、山陽地区で一斉に行われた。
このうち、植生地区では、全日本オートレース選
手会山陽支部(田方秀和支部長)の選手や、山陽
オートを運営する日本トーターの社員ら約三十
人も参加。住民らと一緒に草刈りに汗を流した。

オート選手は植生地
区の三方所に分かれて
参加。山陽オートのそ
ばを流れる前場川で
は、正寺自治会(岡田
勝之自治会長)の住民
ら約八十人と、中野政

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

学校教育課

1 調査対象

山陽小野田市立小・中学校19校（小学校12校・中学校7校〔分校含む〕）

小学生3029名 中学生1459名 合計4487名

2 調査対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

3 いじめの調査結果

1000人あたりの認知件数

	R4	R5
国	53.3	57.9
山口県	28.8	32.0
山陽小野田市	21.7	30.1

	R4	R5
小学校認知件数	51	81
中学校認知件数	49	54
小中認知件数	100	135
小学校認知率	16.4	26.7
中学校認知率	32.5	37.0

校種	認知件数	①日常的衝突	②教育的課題
全体	135件	116件 (85.9%)	19件 (14.1%)

○いじめの認知件数は、小学校81件、中学校54件、小中学校合わせて135件、1000人あたりの認知率は30.1で国や県より低くなっている。

○学年別では、全国的には小学校2・3年生をピークに学年が上がるにつれて減少していくが、本市では小学校5年(25件)、中学校1年(26件)が多くなっている。

緊急避難場所および避難所一覧

①事前避難のために開設する避難場所は、災害の状況を考慮した上で、★印の施設を優先して開設します

②災害ごとの利用の可否は、次のとおりになります

○：利用可 ×：利用不可 △：浸水想定区域内等に位置するが、災害規模が小さい場合は利用可

緊急避難場所		災害ごとの 利用の可否					避難所	海拔(m) (※1)
		高潮	洪水	土砂	地震	津波		
本山校区								
	本山小学校	○	○	○	○	○	○	21.1
★	本山公民館	○	○	○	○	○	○	10.8
	本山コミュニティ体育館	○	○	○	○	○	○	9.4
	安養寺	○	○	○	△	○		19.5
	光安寺	○	○	○	○	○		16.4
	竜王山	×	×	×	○	○	(※2) 広域	—
赤崎校区								
	赤崎小学校	△	○	○	○	○	○	3.7
★	赤崎公民館	△	○	○	○	×	○	2.1
	竜王中学校	○	○	○	○	○	○	12.5
	山口東京理科大学	△	○	○	○	×	○	2.9
須恵校区								
	商工センター	△	○	○	×	×		1.1
	須恵小学校	△	○	○	○	○	○	4.1
	小野田中学校	○	○	○	○	○	○	16.3
★	須恵公民館	△	○	○	○	×	○	1.1
	須恵コミュニティ体育館	△	○	○	○	×	○	2.2
	小野田工業高等学校	×	○	○	○	×		1.2
	須恵健康公園	×	×	×	○	×	広域	1.8
小野田校区								
	中央福祉センター	△	○	○	×	×		1.8
	小野田小学校	△	○	○	○	×	○	1.1
★	市民体育館	△	○	○	△	×	○	1.0
	武道館(柔剣道場)	△	○	○	○	×	○	1.2
高泊校区								
★	高泊小学校	○	○	○	○	○	○	15.6
	高泊公民館	×	○	○	○	×	○	2.2
	高泊コミュニティ体育館	×	○	○	○	×	○	2.2
高千帆校区								
	高千帆公民館	△	△	○	×	×		1.3
★	高千帆福祉会館	△	○	○	○	×	○	1.3
	市役所	△	△	○	×	×		0.9
	小野田高等学校	○	○	△	○	○		13.8
★	高千帆小学校	○	○	○	○	○	○	11.2
	高千帆中学校	○	○	△	○	○	○	15.8
	サビエル高等学校	○	○	△	○	○		17.8

緊急避難場所		災害ごとの 利用の可否					避難 所	海 抜 (m)
		高 潮	洪 水	土 砂	地 震	津 波		
有帆校区								
	有帆小学校	○	△	○	○	○	○	5.0
	有帆児童館	○	△	○	○	○		5.0
★	有帆公民館	○	△	○	○	○	○	4.5
	有帆コミュニティ体育館	○	△	○	○	○	○	4.5
	江汐公園管理棟	○	○	○	○	○		26.0
	別府八幡宮	○	○	○	○	○		26.9
	有帆緑地	○	○	○	○	○		27.2
	江汐公園	×	×	×	○	○	広域	—
厚狭校区								
	森広会館	○	○	×	×	○		86.0
	川上会館	○	○	×	×	○		34.0
	福正寺公会堂	○	○	×	×	○		26.8
★	厚狭地区複合施設	△	△	○	○	○	○	5.8
★	厚狭小学校	○	○	○	○	○	○	9.6
	厚狭高等学校南校舎	○	○	○	○	○		13.2
	不二輸送機ホール(文化会館)	△	△	○	○	○		5.0
	清安寺	○	○	○	△	○		18.2
	妙徳寺	○	○	×	×	○		14.1
出合校区								
★	厚狭中学校	○	○	○	○	○	○	22.0
	出合公民館	○	○	×	×	○	○	17.9
	石丸総合館	○	○	○	×	○		23.1
厚陽校区								
	鳥越福祉会館	×	×	○	○	×		3.8
★	旧厚陽中学校体育館	○	○	○	○	○	○	10.5
	厚陽小・中学校	×	○	○	○	×	○	4.2
	西福寺	○	○	×	×	○		6.0
埴生・津布田校区								
★	津布田小学校	○	○	○	○	○	○	9.7
	森本集会所	○	○	○	×	○		15.4
	埴生小・中学校	○	○	○	○	○	○	10.9
★	埴生公民館	○	○	○	×	○	○	5.2
	旧埴生小学校体育館	○	○	○	○	○	○	9.7
	福田公会堂	○	○	×	×	○		40.9
	長生園	○	○	○	×	○		8.9
	サンライフ山陽	○	○	○	○	○		9.8

※ 1 表に記載している海拔は、施設の「立地地点」におけるおおよその数値です。

※ 2 「広域」と記載している避難場所は、避難が長期化した場合、仮設テント等を設置する場所です。

現在位置：[トップページ](#) ▶ [市政情報](#) ▶ [財政・行財政改革・資産有効活用・会計](#) ▶
[資産有効活用、財産管理（公共施設マネジメント、ネーミングライツ等）](#) ▶ [資産有効活用](#) ▶ [概要](#) ▶
京都市資産有効活用市民等提案制度

京都市資産有効活用市民等提案制度

ページ番号124800

2023年11月6日

■ ～皆様からの御提案をお待ちしています～

▶ 1 趣旨

京都市では、自らが実施主体となろうとする市民や事業者の皆様から、市有資産の有効活用に係る提案を常時受け付ける「京都市資産有効活用市民等提案制度」を創設し、市民や事業者の皆様の自由で創意工夫に富んだノウハウや発想を生かした資産の有効活用を推進しています。

▶ 2 対象とする資産

本市が保有する土地及び建物を対象とします。（一部、対象外となる資産があります。詳しくは「実施要領」で御確認ください。）

※ 活用検討の対象となる市有地については、[「有効活用に向けた市有地情報の公開について」のページ](#)で公開しています。

※ 学校跡地の活用提案については、[こちらのページ](#)を御覧ください。

※ 上下水道局保有資産の活用提案については、[こちらのページ](#)を御覧ください。

▶ 3 募集する提案

提案者自らが実施主体となって、対象資産を有効活用する提案を募集します。（提案内容によっては受付できない場合があります。詳しくは「実施要領」で御確認ください。）

▶ 4 提案者の資格

提案者は、提案内容を自ら主体となり実施する個人、法人及びその他団体（共同提案も可能です。）とします。（別途資格要件があります。詳しくは「実施要領」で御確認ください。）

▶ 5 提案方法

(1) 問い合わせ

提案を検討する資産に関する基礎的な情報については、資産イノベーション推進室もしくは資産を所管する部署（以下「資産所管部署」とします。）までお問い合わせください。

(2) 事前相談の受付

提案の前に、必ず資産イノベーション推進室へ御相談ください。（事前相談がない提案は受け付けできません。）

事前相談は面談にて行います。事前相談書（第1号様式）に必要事項を記入のうえお申し込みください。

(3) 提案書の受付

提案書（第2号様式）に提案内容を記入のうえ、資産イノベーション推進室まで提出してください。（別添で参考

防災協力事業所

更新日：2024年9月6日



防災協力事業所について

事業の目的等

南海トラフ巨大地震等に備えるため、防災士の養成や防災訓練等、本市の防災に協力いただいている事業所その他の団体（以下「事業所等」という。）を顕彰し、地域との連携を更に強化することで、総合的な地域防災力の向上を図ることを目的として、平成27年から開始した事業です。

防災協力事業所とは

防災士の資格取得等に取り組んでいて、下記の要件のいずれかに該当し、本市からの推薦により認定特定非営利活動法人 日本防災士機構が認証した事業所等をいいます。

- (1) 従業員の防災・減災に関する活動又は教育を奨励している事業所等
- (2) 災害時等に事業所等の資機材等を行政機関又は地域の自主防災組織に提供する等、防災活動への協力をしている事業所等
- (3) その他防災活動に協力することにより、地域の防災体制の充実又は強化に寄与している等、市長が特に優良と認める事業所等



防災協力事業所表示証

なお、防災協力事業所として認証された事業所等には、毎年2月（予定）に開催する「防災協力事業所表示証交付式」で、防災協力事業所表示証（プレート）が交付されます。

令和6年度 防災士フォローアッププログラム

第4期
受講者募集

松山市内に在住、または勤務している防災士の方々のさらなるスキルアップと
地域や企業の防災力を向上させることを目的として、今年度から「防災士フォローアップ
プログラム」を開始します。今回は、第4期の参加者を募集いたします。

対象者：松山市に在住または勤務し、「防災士」の資格を取得している方

初級者向け

01

座学

※延期分を再度募集します。第2期にて受講が決定していた方も改めて申込みが必要です。

日時：令和7年1月11日（土）9:30-12:00 定員：50名
会場：保健所・消防合同庁舎6階 防災大会議室（萱町六丁目30-5）

HUG（避難所運営ゲーム）

カードゲーム「HUG」で、避難者の配置や避難所で発生する様々な課題への対応を通じ、避難所運営を机上で体験します。



上級者向け

02

実技

日時：令和7年1月19日（日）9:30-17:00 定員：50名
会場：松山市立番町小学校（二番町四丁目6-1）

リアルHUG（避難所運営ゲーム）

カードゲーム「HUG」の実践版です。避難所の開設準備、避難者の受入れを、実際の体育館で体験します。避難所運営を体感できる唯一の講座です。



上級者向け

03

座学

日時：令和7年1月25日（土）10:00-12:00 定員：50名
会場：保健所・消防合同庁舎6階 防災大会議室（萱町六丁目30-5）

要配慮者支援

災害が発生した時に、高齢者、障がい者など配慮の必要な方に対して、どのような対応が必要になるかを学びます。



※ 各自のスキルや経験などに応じて選択できるよう「初級者向け」「中級者向け」「上級者向け」に区分していますが、受講要件等はありませんので、ご自由に受講してください。

申込
方法

応募専用フォームからお申込みください

URL⇒<https://forms.gle/uFGGXDGJNKTPvfzAA>

申込〆切：令和6年12月13日（金）17:00

応募専用フォーム

受講
無料

■応募専用フォームを使用できない場合■

下記の情報を記載の上、eメールでお申し込みください。

「①氏名（ふりがな） ②電話番号 ③eメールアドレス ④受講希望の研修名」

eメール送付先：info@matsuyama-bltc.com（担当：中島）

※受講決定通知は12月下旬を予定しています。

※記載いただいたメールアドレスに、受講決定通知を送付しますので、誤りのないようにご記入ください。

※申込者1名につき1つのメールアドレスをご記入ください。

※【info@matsuyama-bltc.com】からのメールを受信できるようにしてください。

※定員に達した場合、受講できないことがございます。定員を大きく超える申し込みを頂いた場合、早期に打ち切ることもございます。